

平成31年 教育委員会第1回臨時会（秘密会） 会議録

日 時 平成31年3月29日（金）

午後2時21分～午後2時39分

場 所 教育委員会室

議事日程

第 1 議案

【指導課】

- (1) 議案第10号「平成31年度 幼稚園教育職員及び九段中等教育学校教育職員の異動」

第 2 報告

【指導課】

- (1) 福岡県教育委員会からの教員派遣研修受け入れについて

出席委員（5名）

教育長	坂田 融朗
教育委員長職務代理者	中川 典子
教育委員	金丸 精孝
教育委員	長崎 夢地
教育委員	俣野 幸昭

出席職員（10名）

子ども部長	大矢 栄一
教育担当部長	村木 久人
子ども総務課長事務取扱 子ども部参事	安田 昌一
子ども支援課長	加藤 伸昭
子育て推進課長	中根 昌宏
児童・家庭支援センター所長	新井 玉江
子ども施設課長	小池 正敏
学務課長	纒片 淳一
指導課長	佐藤 友信
指導課統括指導主事	佐藤 達哉

欠席委員（0名）

欠席職員（0名）

書記（2名）

総務係長	村松 紀彦
総務係員	橋本 悠

坂田教育長 | それでは、再開いたします。
当初にお話ししました議案の10号、そして報告案件について、秘密会を開催いたします。

◎日程第1 議案

指導課

（1）議案第10号「平成31年度 幼稚園教育職員及び九段中等教育学校教育職員の異動」

坂田教育長 | 議案の第10号は、平成31年度の幼稚園教育職員及び九段中等教育学校教育職員の異動でございます。

指導課長から説明をお願いします。

指導課長 | はい。それでは、議案第10号、幼稚園教員、九段中等教育学校教員の採用等につきましてご説明いたします。

幼稚園、中等教育学校の区職に当たっている教員の人事異動等につきまして説明をいたします。

まず教育管理職です。

（1）再任用期間満了です。こちらはお茶の水幼稚園の副園長が任期、期間満了で、このたび退職ということになります。

（2）転出です。九段中等教育学校の校長が、自治法派遣期間満了、3年間の自治法派遣期間満了ということで、都立世田谷泉高等学校へ転出となります。

（3）再任用更新です。昌平幼稚園の副園長、そして教育研究所に勤務しているふじみこども園の副園長、2名とも再任用更新ということで、引き続き同職で勤務するという形になります。

続きまして、教育職員です。

（1）は退職です。こちらの場合は、幼稚園の場合は退職なんですけれども、中等の場合、九段中等教育学校につきましては、区の職員を退職して都の職員に戻るといった形です。

そちらの表のとおりでございます。お茶の水幼稚園から1名の退職、そして、九段中等からは、今回20名の異動という形になっているところでございます。

それと一体という形になるのが、（2）の採用のほうでございます。こちらにつきましては、幼稚園教諭のほうで新規採用で1名を採用いたしました。九段中等の入れかわりということで、以下にその（2）にある20名の教諭及び主任教諭がこのたび九段中等教育学校のほうへ着任するという形にな

ります。

(3) 異動です。こちらにつきましては、幼稚園教諭の区内異動のほうをお示しさせていただいております。今回は主任教諭5名、教諭3名の異動のほうを行いました。

最後に再任用更新でございます。再任用更新につきましては、九段中等教育学校の主任教諭1名が再任用更新という形で、九段中等のほうへ再び着任を続けるという形になります。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

坂田教育長

はい。ありがとうございました。

幼稚園教諭と九段中等の先生でございますが、相当入れかわりをしました。何かご感想、ご意見ございましたら。

金丸委員。

金丸委員

この九段中等教育学校ですけど、主任教諭がかなりたくさん抜けていって、新しく入ってくる方が、主任教諭としては2人だけ。これで大丈夫なのかという、極めて素朴な疑問です。

もう一点は、お茶の水の副園長が抜けられた後、誰が入るのか。これだとわからないんですけども。

坂田教育長

はい。お願いします。

指導課長

はい。まず、九段中等のほうからご説明いたします。

基本的な構成からご説明させていただきますと、九段中等教育学校は一度、都の教員をやめてから、初異動として入ってくる人数が多いということ。そうすると、ほぼほぼ最初の初任からの6年は、立場的には教諭という状態で入ってきて、九段中等で数年勤務する間、8年目以降から主任教諭の選考ができるものですから、九段中等にいる間で主任教諭になって、定数的には主任教諭になっているという状況が多くなります。

状況として今回人数が多いので、大変、私どもも今後、より支援を考えていかなければならないと想定をしているところでございますが、このたび九段中等教育学校に公募という形で、ここを目指して入ってくる者、またこちらのほうに入ってくる教諭というのは、九段中等教育学校での指導を希望して入ってくる、ある種そういった熱意のある者が入ってくるということで、ここ数年、こういったローテーションの繰り返しになってきております。また、新しい校長先生のもと、結束力を高めて、副校長はそのまま残りますので、あとこちらのほうの指導課のほうからの担当指導主事等も連絡を密にしながら、育成等も図っていくところです。

あと、お茶の水の副園長先生につきましてはご退職という形になります。そして、新しく幼稚園のほうの、お茶の水幼稚園の副園長のほうは、以前、区内の幼稚園で勤務をしていて、内閣府のほうへ3年間出て勤務をしていた先生が昇任という形で副園長になります。以前は内閣府子ども・子育て本部というところで、こども園の運営等につきまして、全国を回って、その仕組みを説明する等の多様な経験を積んでいただいた上で、千代田区に改めて

戻ってこられるという形での着任になります。

以上です。

坂田教育長 何かございますか。

(なし)

坂田教育長 はい。それでは、議案第10号ということでございましたので、採決をさせていただきますと思います。

ただいまの内容につきまして、賛成の方の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

坂田教育長 はい。ありがとうございます。賛成全員でございますので、原案どおり決定をいたしました。

◎日程第2 報告

指導課

(1) 福岡県教育委員会からの教員派遣研修受け入れについて

坂田教育長 もう一件、報告事項がございます。一番下の、指導課さんから、福岡県教育委員会からの教員派遣研修受け入れについてということでございます。

指導課より説明をお願いします。

指導課長 それでは、福岡県教育委員会からの教員派遣研修の受け入れにつきましてご報告いたします。

これは福岡県の教育委員会のほうで、教員の資質向上を図るために県外の教育機関に長期研修を実施するというシステムを持っておりまして、このたび福岡県教育委員会から、千代田区教育委員会が派遣を受け入れた次第でございます。

派遣される教員は、福岡県糸島市立前原東中学校の上田^{あきら}先生でございます。担当教科は数学でございます。

派遣期間につきましては、31年4月1日から1年間となります。

研修先のほうは麴町中学校です。

派遣教員の身分につきましては、福岡県の公立学校教員の身分を有したまま、千代田区教育委員会の公立学校教員としてあわせて任命する形になります。

5番、給与等の取扱いにつきましては、給与、旅費とも、福岡県教育委員会が支給するというようになっております。

その他につきましては、教員派遣に関する協定を締結しております。

以上、ご報告でございます。よろしくをお願いいたします。

坂田教育長 はい。ありがとうございました。

そういうことで、福岡県の先生がこちらに来られて、麴町中学校で研修をするということでございます。

俣野委員。

俣野委員 これは毎年恒例でやっていることなんですか。

